

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
平成29年 6月 27日	
愛知県知事 殿	
提出者	
住 所 愛知県稲沢市菱町1番地	
氏 名 三菱電機株式会社稲沢製作所	
所長 林 美克	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0587-23-1111	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	三菱電機株式会社稲沢製作所
事業場の所在地	愛知県稲沢市菱町1番地
計画期間	平成29年4月1日～平成30年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	25：はん用機械器具製造業
②事業の規模	製造品出荷額：97,291百万円
③従業員数	1,900人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙の通り

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 所長 生産性推進部長 (環境推進責任者) 生産性推進部環境工務課 環境工務課長 (廃棄物管理者) 環境SG (廃棄物管理部門) 稲菱テクニカサービス部長 (特別管理産業廃棄物管理責任者)			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度 (平成28年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙の通り		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙の通り		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 廃棄物集積場のパトロールを継続し、不適切な廃棄に対して分別指導を継続する。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 特になし		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	別紙の通り		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	別紙の通り		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
別紙の通り			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
別紙の通り			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・実施する予定はない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） 別紙の通り		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	別紙の通り		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の一連の処理の工程



前年度(平成28年度)実績、目標及び取組

産業廃棄物の種類 (名称) 項 目		汚泥			廃油		廃アルカリ	
		活性汚泥	フース汚泥 ピット汚泥	グリスピット汚泥	水溶性廃油 油水分離	機械廃油 水溶性廃油	廃アルカリ	
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項								
①現状	排出量(t)	675.50	120.42	15.14	46.50	84.56	26.62	
	【前年度実績】 これまでに実施した取組	・特になし			・特になし		・特になし	
②計画	排出量(t)	660.00	100.00	13.00	55.00	80.00	27.00	
	【目標】 今後実施する予定の取組	・特になし			・特になし		・特になし	
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項								
①現状	自ら再生利用を行った量(t)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	【前年度実績】 これまでに実施した取組	・特になし			・特になし		・特になし	
②計画	自ら再生利用を行う量(t)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	【目標】 今後実施する予定の取組	・特になし			・特になし		・特になし	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項								
①現状	自ら熱回収を行った量(t)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	【前年度実績】 自ら中間処理により減量した量(t)	647.19	0.00	0.00	39.70	0.00	0.00	
	【前年度実績】 これまでに実施した取組	・活性汚泥の脱水			・水溶性廃油の油水分離		・特になし	
②計画	自ら熱回収を行った量(t)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	【目標】 自ら中間処理により減量する量(t)	630.00	0.00	0.00	43.00	0.00	0.00	
	【目標】 今後実施する予定の取組	・活性汚泥の脱水			・水溶性廃油の油水分離		・特になし	

前年度(平成28年度)実績、目標及び取組

産業廃棄物の種類 (名称) 項 目		汚 泥			廃 油		廃アルカリ	
		活性汚泥	ブース汚泥 ピット汚泥	グリスピット汚泥	水溶性廃油 油水分離	機械廃油 水溶性廃油	廃アルカリ	
産業廃棄物の処理の委託に関する事項								
①現状 【前年度 実績】	全処理委託量(t)	28.31	120.42	15.14	6.80	84.56	26.62	
	優良認定処理業者への 処理委託量(t)	28.31	120.42	0.00	6.80	84.56	26.62	
	再生利用業者への 処理委託量(t)	28.31	120.42	15.14	6.80	84.56	26.62	
	認定熱回収業者への 処理委託量(t)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量(t)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	これまでに実施した取組	・再生利用業者への処理委託を行い、最終処			・再生利用業者への処理委託 を行い、最終処分量をゼロに した		・再生利用業 者への処理委 託を行い、最 終処分量をゼ ロにした	
②計画 【目標】	全処理委託量(t)	30.00	100.00	13.00	12.00	80.00	27.00	
	優良認定処理業者への 処理委託量(t)	30.00	100.00	0.00	12.00	80.00	27.00	
	再生利用業者への 処理委託量(t)	30.00	100.00	13.00	12.00	80.00	27.00	
	認定熱回収業者への 処理委託量(t)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量(t)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	今後実施する予定の取組	・再生利用業者への処理委託を行い、最終処			・再生利用業者への処理委託 を行い、最終処分量ゼロの維 持		・再生利用業 者への処理委 託を行い、最 終処分量ゼロ を維持	

前年度(平成28年度)実績、目標及び取組

産業廃棄物の種類（名称） 項 目		廃プラスチック類						
		廃ワニス	塗料かす類 (流動体)	塗料付着物	紙屑・廃プラ (構内)	紙屑・廃プラ (出荷物流)	熔融屑	
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項								
①現状	排出量(t)	1.92	9.28	33.32	116.13	15.14	25.13	
	【前年度実績】	これまでに実施した取組 ・廃プラスチック類の有価物化						
	②計画	1.60	10.00	35.00	113.50	16.00	16.00	
	【目標】	今後実施する予定の取組 ・廃プラスチック類の有価物化の適用拡大						
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項								
①現状	自ら再生利用を行った量(t)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	【前年度実績】	これまでに実施した取組 ・特になし						
	②計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	【目標】	今後実施する予定の取組 ・特になし						
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項								
①現状	自ら熱回収を行った量(t)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	【前年度実績】	自ら中間処理により減量した量(t)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		これまでに実施した取組	・特になし					
	②計画	自ら熱回収を行った量(t)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		自ら中間処理により減量する量(t)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		【目標】	今後実施する予定の取組 ・特になし					

前年度(平成28年度)実績、目標及び取組

産業廃棄物の種類 (名称) 項 目		廃プラスチック類						
		廃ワニス	塗料かす類 (流動体)	塗料付着物	紙屑・廃プラ (構内)	紙屑・廃プラ (出荷物流)	溶融屑	
産業廃棄物の処理の委託に関する事項								
①現状 【前年度 実績】	全処理委託量(t)	1.92	9.28	33.32	116.13	15.14	25.13	
	優良認定処理業者への 処理委託量(t)	1.92	9.28	33.32	41.65	15.14	25.13	
	再生利用業者への 処理委託量(t)	1.92	9.28	33.32	116.13	15.14	25.13	
	認定熱回収業者への 処理委託量(t)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量(t)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	これまでに実施した取組	・再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量をゼロにした						
②計画 【目標】	全処理委託量(t)	1.60	10.00	35.00	113.50	16.00	8.00	
	優良認定処理業者への 処理委託量(t)	1.60	10.00	35.00	0.00	16.00	8.00	
	再生利用業者への 処理委託量(t)	1.60	10.00	35.00	113.50	16.00	8.00	
	認定熱回収業者への 処理委託量(t)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量(t)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	今後実施する予定の取組	・再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量ゼロの維持						

前年度(平成28年度)実績、目標及び取組

産業廃棄物の種類 (名称) 項 目		木くず		金属くず	ガラス・陶磁器屑				
		木屑 (構内)	木屑 (出荷物流)	金属屑	砥石屑	廃蛍光管	飲料ビン		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項									
①現状	排出量(t)	304.73	256.88	5.89	1.33	1.72	0.20		
	【前年度実績】 これまでに実施した取組	・木屑(木材パレット等)のリターナブル化 ・購入品の梱包改善や通い箱化、簡易包装化		・特になし	・特になし				
②計画	排出量(t)	325.00	300.00	6.50	1.00	1.20	2.80		
	【目標】 今後実施する予定の取組	・木屑(木材パレット等)のリターナブル化 ・鋼材箱、プラパレットの導入促進、簡易包装化		・特になし	・特になし				
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項									
①現状	自ら再生利用を行った量(t)	0.00	105.03	0.00	0.00	0.00	0.00		
	【前年度実績】 これまでに実施した取組	・木材リサイクルの運用		・特になし	・特になし				
②計画	自ら再生利用を行う量(t)	0.00	110.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
	【目標】 今後実施する予定の取組	・木材リサイクルの運用拡大		・特になし	・特になし				
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項									
①現状	自ら熱回収を行った量(t)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
	自ら中間処理により減量した量(t)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
	【前年度実績】 これまでに実施した取組	・特になし		・特になし	・特になし				
②計画	自ら熱回収を行った量(t)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
	自ら中間処理により減量する量(t)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
	【目標】 今後実施する予定の取組	・特になし		・特になし	・特になし				

前年度(平成28年度)実績、目標及び取組

産業廃棄物の種類（名称） 項 目			木くず		金属くず	ガラス・陶磁器屑				
			木屑 (構内)	木屑 (出荷物流)	金属屑	砥石屑	廃蛍光管	飲料ビン		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項										
①現状 【前年度 実績】	全処理委託量(t)		304.73	151.85	5.89	1.33	1.72	0.20		
	優良認定処理業者への 処理委託量(t)		0.00	0.00	5.89	0.00	0.00	0.00		
	再生利用業者への 処理委託量(t)		304.73	151.85	5.89	1.33	1.72	0.20		
	認定熱回収業者への 処理委託量(t)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量(t)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
	これまでに実施した取組		・再生利用業者への処理委託 を行い、最終処分量をゼロに した		・再生利用業 者への処理委 託を行い、最 終処分量をゼ ロにした	・再生利用業者への処理委託を行い、最終処 分量をゼロにした				
②計画 【目標】	全処理委託量(t)		325.00	190.00	6.50	1.00	1.20	2.80		
	優良認定処理業者への 処理委託量(t)		0.00	0.00	6.50	0.00	0.00	0.00		
	再生利用業者への 処理委託量(t)		325.00	190.00	6.50	1.00	1.20	2.80		
	認定熱回収業者への 処理委託量(t)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量(t)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
	今後実施する予定の取組		・再生利用業者への処理委託 を行い、最終処分量ゼロを維持		・再生利用業 者への処理委 託を行い、最 終処分量ゼロ を維持	・再生利用業者への処理委託を行い、最終処 分量ゼロを維持				